



ゴールデンウィーク♪

GWの旅行予約が落ち込んでいるようです。暦の関係で連休が取りにくい所もあるようですが、¥1,000 高速も6月までということで、遠出のラストチャンスかもしれません。みんなで日本を明るく盛り上げましょう！

ご意見・ご質問・ご感想・家づくりに関するお悩み等ありましたら、お気軽にお寄せ下さい。

FAX受付 054-636-2674
E-mail受付 info@kata-ken.co.jp

- 片山茂夫の声
- 現場最前線
- イベント情報

◆ 今月のトピックス

代表者 片山茂夫の声

ようやく緑樹がさわやかで、お茶の新緑がとてもあざやかに感じられるこの頃です。しかし、朝の早い時間は風が冷たく感じられ、朝の気温と日中の温度差が10℃以上もあり、体調管理がなかなか大変な時期だなと思います。みなさまもご自愛ください。

4月25日の昼頃の突風と突然の雨、そして強い風が吹き、外では冬の装いでも良いのかなと思うくらいでしたので、5月に入ったら少し初夏を感じさせる季節が欲しいくらいに感じています。

東日本大震災で特に福島第一原発事故のことが気になり、毎日テレビニュースや新聞等を見ています。原発の事故は一向に良くなるようには感じられず、東電が発表した工程表で原子炉を安定した状態に持ち込むのに6～9ヵ月程度かかるとの見通しを発表しましたが、国民の願いはいつまでに放射能漏れがおさまるのかをはっきりとして欲しい事だと思います。

東電などの発表、または新聞記事などの言葉を確認してみると、「放射性物質の放出の管理」「線量の大幅な抑制」「燃料を冷やす冷温停止になることを目指す」「放射性物質の放出抑制に全力で取り組む」「収束はかなり成功するのではないか」などの言葉を見ると何一つ期日や数字などをはっきりと示しておらず、みんなファジーに感じられ、国民の信頼は何一つないと感じられました。(右上に続く。)

国民に早く明確な回答を示して欲しいものです。東電は一般国民と同じで、はじめての災害で想定外...では許されないと思います。

住宅業界も他の業種と同じで、材料の入手が困難な物が出てきており、工期等の遅れがでてきています。食料品などへの風評被害、そしてホテル・旅館などのキャンセルなども早く原子炉の問題がおさまり、そして電気の供給等が安定すれば日本経済も力強く再生するものと思われれます。

被災地の支援をしている人たちのニュースを見ますと、日本人は立派な人たちがいっぱいいることがわかり、民間の活力はすごいものだと感じました。復興会議の2回目も終わり、早く復興が着手され、日本経済が立ち直ることを願うばかりです。



←築21年のOB施主さまのお宅のお庭がとてもステキでしたので写真を撮らせていただきました。

現場最前線 ～工事現場レポート1～

<焼津市八幡に建つ家> (4人の住まい)

～2階建て 在来軸組工法 延床面積48.28坪 延施工面積56.71坪～

上棟して2ヶ月近く経過し、現場の実働も40日経ちました。外装に養生ネットが張られていますので、外部の写真が撮れないのが残念です。

現場の進捗は、1,2階共天井と床が終わり(1階和室の天井を除く)これから壁のクロス下地、腰羽目板、収納棚、階段等の工事へと進んでいきます。外壁の仕上げはサイディング工事で、順調に仕上がり終わっています。外部については樋工事などを進めて、足場の解体となります。

